

## 第 27 回議会報告会 報告書

地域名	西谷地域		
年月日	令和 7 年 4 月 22 日 (火)	会場名	西谷ふれあいの家
開始時間	19 時 30 分	終了時間	21 時 03 分
参加数	男性 22 人	女性 2 人	合計 24 人
班 長	浄慶耕造	司会者	浄慶耕造
報告者	全員	書記	塚本正彦
班員名	浄慶耕造 川瀬 稔 塚本正彦 深澤 巧		
	市 民	対 応	
報告に対する質疑	<p>① 予算資料を見ると経常収支比率が 100%に近い。数年後には破綻するのではないかと心配する。施設の廃止や人件費の削減も必要ではないか。市長、職員、議員は危機感を感じているか。</p>	<p>① 人口が減少する中で、すべての行政課題を見直す覚悟が必要である。予算規模の縮小や行政改革の取組みを提言していく。一方、公債費比率や将来負担比率は健全な状態を示しているなので、早い段階で対策を取ることが重要だ。</p>	
	<p>② 地域自治組織の運営等に関する条例は新たに制定されたが、今後の自治協は活動しやすくなるのかどうか。250 万円では人件費は賄えない。</p>	<p>② 自治協は結成されてから 10 年～15 年を経過したが、頑張れば頑張るほど予算が不足する、人件費が足りない、市は自治協に何を求めるのかなど多くの声が上がってきた。当局が 2 年間かけて意見交換を行って理念や役割を明確にした条例を上程し、包括交付金の増額も提起した。条例はこれまでの財政支援条例を格上げしたものだが包括交付金の算定方式は施行規則に移した。算定方式が議会審理にならないではないかという反対意見もあった。</p>	
	<p>③ 大屋デイサービスセンターが終了する件だが、利用者も突然通告されたと言っているし、区長会も素通りだった。議会は聞いていて賛成したのだろうが、丁寧な説明が欲しかった。</p>	<p>③ 同じ決定でもプロセスが大事だと思う。養父市のような田舎ならではの温かみや寄り添う姿勢とかを大切に感じたい。議員をやってきて一番相談を受けるのは介護の問題だ。施設の老朽化や介護士の不足など課題はたくさんあるが条件が悪い地域に特化する政策も必要だ。</p>	

	市 民	対 応
意見交換会での質疑	<p>① 養父市における、将来のビジョンが見えない。その方向性が示されていない。皆さんはどんなビジョンを持っているのか。</p> <p>② 私の子供のころは若杉にも分校があった。へき地ほど教育が充実していたように思う。人口推計では大屋小も中学校も子供の数が減る。一人でも二人でも教育に金をかけるといふ発想にならないか。子どもの声が聞こえることで村が続くという絵が描けないか。</p> <p>③ ウイスキー工場の橋はいつ完成するのか。ナイトスポットとして人気が出つつあると感じる。</p> <p>④ 小中学校の10人に1人以上の子どもが不登校になっている。ほっとステーション(ククナ)などで支援が行われている。しかし高校から20代にかけて養父市には就労体験を行ったり、働く場所がない。就労を支援する組織を作してほしい。</p> <p>⑤ 用水路の整備が必要。生活における水路や農業水路などの整備を必要と思う。除雪、台風の土砂流入時など、高齢になったものが対応すると危険である。要望を上げてても対応してもらえないまで時間がかかるので、放っておいている。</p>	<p>① 一概には言えないが、皆さんといろんなところで知恵を出し合い、これというものに取り組んでいきたい。この地に暮らす以上、農業の振興は中心になる課題だと思う。</p> <p>② 移住定住の政策もいろいろ行われているが、行政や議会、そして地域ももっとアイデアを出し、もっと本気になる余地はないか。村を出て近隣に住んでいる若い人たちとのつながりも一つの案だ。</p> <p>③ 地元が地域振興の希望として工場を受け入れた経緯もあるので期待している。工場前の橋は、当初の計画より予算を倍増して強い構造にするのと、水道管の設置などが加わるため完成は来年になる。今年秋からの観光客の受け入れには現状で対応できると聞いている。</p> <p>④ 今年度から市内4か所にある高齢者等総合相談センターを社協が一括して、高齢者だけでなく相談業務に取り組むことになっている。就労支援についても活用できるのではないか。また健康福祉部の「アグウエルやぶ」でも無料職業紹介を行っている。養父市の経営者でつくる中小企業家同友会も障がい者や引きこもりの青年の雇用に向けて勉強を行っている。連携してほしい。</p> <p>⑤ 要望を上げていただかないとテーブルに乗らない。継続は力なりと感じる具体例もあるので、要望を上げ続けていただき、自分の代でできなくても、次世代の住民のためにあげてほしい。</p>

市 民		対 応
その他 (提言など)	<p>① 養父市全体が中山間地だが、特に「山間部の暮らし」を頭に入れて支援をお願いしたい。</p> <p>② 昨年の選挙で新しい議員が増えたが、何か議会に「化学反応」はあったか。</p> <p>③ 会派の役割は何か。ポスト取りになっているのではないか。</p>	<p>① ご意見としてお聞きし今後の参考にする。</p> <p>② (ベテラン議員) 女性議員も増え、得意分野や専門性があるので、新鮮味があり、刺激もある。一方で議員としての勉強やトレーニングをみんなでやっていく必要を感じている。議会改革推進特別委員会で積み上げたい。 (1期目議員) 報酬に応じた責任を果たしていると認められるよう努力したい。</p> <p>③ 会派を作ることで議員が学習して自らを高めることができる。議会が単一の考えにならないよう、議論を活性化できる。国会の派閥と違って、賛否の拘束をせず、会派間の調整機能によって議会運営をスムーズにしている。</p>
備考 なし		

議会報告会を実施したので、上記のとおり報告いたします。

令和7年5月19日

報告者 3班 班長 浄慶 耕造